

京都府住宅審議会府営住宅管理部会（第21回）における委員御意見等

項目	発言回	御意見等		備考
			資料追加	
現行の京都府府営住宅等長寿命化計画の概要	第20回	1	長寿命化を図ることは重要であるが、高齢化対策は防災に関連してバリアフリーとともに重要。耐震改修だけでなく、避難経路改修も併せて考えることを意識しておくべき。避難距離の短縮化も防災計画の大事な項目となる。	
		2	山城地域、南丹地域、中丹・丹後地域あたりの府営住宅の役割に関する展望が必要、府が公営住宅を整備する意味や必要性をしっかりと考える。	
ストックの建設時期及び建替え時期	第20回	1	耐震性能が不足するものがどの程度あるのか、次回以降の検討の際に提示してほしい。	府営住宅の耐震性能状況 第21回資料1
住宅セーフティネットの核としての活用	第21回	1	セーフティネット住宅登録状況については、空室率が低く、全体の登録数も伸びてきている一方で、地域によっては需要に対し供給が追い付いていないところがある。地域の特性を考えた施策が必要になる。	
		2	セーフティネットで拾えていない人たちをどうやって救うのか、何か対策していることがあれば教えてほしい。	
		3	民間住宅のセーフティネット専用住宅は非常に少ないので、公営住宅で補完していかなければならないが、そこをどうしていくかが課題となる。	
		4	府営住宅の若干空室率が多く埋め切れてないところをセーフティネットに提供できるような需給がうまくマッチングしていないマイナス面を分析して、府営住宅で救えるところを作っていく施策が取れるとよい。	
		5	単身入居可能住戸に応募が集中して倍率が高くなるという話があったが、単身向けでない住戸タイプは余っているのか、セーフティネットとしての需給バランスが取れているのか。地域別・タイプ別で足りないところを民間セーフティネット住宅や一般賃貸住宅も含め、どういうところに依存しなければならぬかを把握することで、府営住宅の役割、地域別の役割が見えてくるのではないかと。	
		6	これから単身の高齢者が増えていくが、若年層も含め単身向けの住戸を充実していければ、若者の流出防止にも役立つのではないかと。	
		7	子育て専用住宅の入居条件資格に3人以上世帯となっているのが、シングルマザー、シングルファーザーなどセーフティネット的に困窮されている2人世帯が入りにくいのは改善の必要がある。	
		8	（府営住宅の仕組み上、コミュニティバランスの関係で、）高齢単身の場合は難しい場合があり、住民の理解などが課題となるが、空室率が高い一方で入居希望者もおられるところもあるというのは、供給タイプの住宅とニーズとのミスマッチもあるのではないかと。	
		9	矯正施設出所者の方の入居支援に関してどんな要件を設けているか。居住支援として新たな機能は何か検討しているのか。	第22回 居住支援について回答
府営住宅の役割（ストックの有効活用）	第21回	1	空き家の災害時のリスクなど、現在空き家となっている地域で非常時の活動等、防災面でのサポートはどのようになっているのか。	
		1	市町村の方が身近な自治体なので、市町村の方でより主体的に動けるような状況を作った方がいいのではないかと。	

地域の課題 市町村との連携	第21回	2	地方の公営住宅では、これから市町村の主体性が一層問われると同時に財政面などから市町村が独自で建てて運営までするというのは、大変なことでもある。府と市町村が連携して、地方に人の流れを作る多機能型のような新たな住宅の取組を打ち出すべきではないか。		
		3	地方の窓口で府営住宅を求められることは多く、府営住宅の役割を果たしてもらっていると認識している。		
		4	IターンやUターンなどで、地方に住める場所を提供することが本当の意味の少子化対策に対する支援と考えるが、特に住宅面でどのような支援をしているのか。		
		5	住宅施策として、低所得など困窮していることが見えにくい若者に対する積極的な支援が抜けてしまっていないか。		
		6	公営住宅の空き家が多い中、目的外利用などの形で若い学生を受け入れるなど、いろんな取り組みは全国的に広がって来ているが、非常に少ないストックをどう効果的に活用するのかをよく考えてやるのがポイントとなると考える。		
		7	市町村の連携に関して、市営住宅と府営住宅を両立して入居申込等受付している中で、府営住宅の役割は大きく、引き続き連携しながら住宅政策を進めていければ良い。		
		特定公共賃貸住宅	第21回	1	特段利用が増える状況が見込めないようなので、廃止方向でいいのではないか。
2	準公営化に進んでいる住戸もあるが、URが公営住宅の収入超過者の受け皿になるのではないか。				
3	URとして京都府内で2万2千戸の供給を行っており。入居資格もゆるく、受け入れ先にはなっていると思われる。				
ストック公民連携 活用事業	第21回	1	大方針には是であるが、イノベティブなことに使いたいと思う人を呼び寄せるような、デザイン上アート上の工夫が必要になるのではないか。		
府営住宅の整備における環境 配慮	第21回	1	府営住宅整備において、建替え住宅でZEH水準を確保するとあるが やや実現性に疑問が生じますが、どの程度の確度で進める予定なのか？		
		2	太陽発電設備の設置、屋根貸などであれば容易とは思いますが、自家消費も含めて考えると容易でなくなると考えられるが、どういった方向性を考えているか。		
		3	新築（建替え）、改修ごとに、省エネ施策、省エネ設備の設置率を教えてほしい。		
その他	第20回	1	府営住宅への外国人の入居等により若年人口が増える意味では提供していくことも考えられる。		
全体を通して	第20回	1	地域的な問題についてはできる限り地図を使ったデータ表示を検討してほしい。		